

令和2年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	アプリを用いてコロナ禍における学生の健康観察の継続をサポート
研究者所属・氏名	研究代表者：メディカルサポートセンター 藤本 美香 共同研究者：農学部 食品栄養学科 木戸 慎介、富田 圭子 近畿大学病院 栄養部 梶原 克美、渡辺 紗弥佳、森田 隆介

1. 研究、開発・改良、提案目的・内容

新型コロナウイルス感染症の拡大で学生自身の生活が激変したなかで、食生活を整えることは感染症対策になり、自粛生活を送る際の自炊へのエールとなる。近畿大学職員が考案した、簡単に作れる大阪府認定 V.O.S.メニュー（野菜たっぷり・適油・適塩）レシピを HP で公開するとともに、地域の皆さんに配布し、できれば近隣の飲食店でも提供していただき、健康と食の楽しみを近畿大学とともに分かち合うことを目的としたいと考えた。

2. 研究、開発・改良、提案経過及び成果

①農学部、近畿大学病院の管理栄養士（共同研究者）により、学生が自宅でも作れる健康メニューを作成いただき、合計 16 レシピが大阪府より V.O.S.メニュー（野菜たっぷり・適油・適塩）レシピとして認定された。近畿大学と大阪府は 2017 年に健康づくりの推進に係る連携・協力に関する協定を結んでいる。また、2018 年には包括連携協定を結んでおり、この協定の（1）地域活性化に関する事、（2）教育・研究・文化振興に関する事、（3）健康に関する事にこのプロジェクトは関連しており、大阪府の健康づくり課に今回の活動について連携を行っている。

②大阪府に V.O.S.メニューと認定された 16 メニューのなかから、近畿大学病院では令和 3 年 2 月 12 日、16 日（火）、18 日（木）、24 日（水）、25 日（木）の 5 日間、2 つの丼 V.O.S.メニューを限定食数でテイクアウトメニューとして提供した。一つは近大の「食縁のブリ」を使用、もう一つは「近の鶏卵」を使用し、すぐに完売した。ただし、東大阪キャンパスでは「DNS POWER CAFE/THE CHARGING PIT&DINER」、近隣の飲食店では、近大前商店会の協力により「焼肉じゅうじゅう亭」より提供予定である。現在、オンライン授業等で大学生の入構が少ないため、この提供は令和 3 年度へ持ち越しが出来ればと考えている。

③V.O.S.メニューレシピは、2020 年 12 月と 2021 年 1 月に、近畿大学建築学部管轄の「ながせのながや」を借り、④近大前商店会「焼肉じゅうじゅう亭」によりテイクアウト販売とともに⑤医療従事者による感染症対策の実演、⑥管理栄養士による感染に強くなるワンポイント栄養指導の予定であったが、緊急事態宣言下であり中止を余儀なくされた。また、近隣へ訪問しての健康レシピ普及と感染対策チラシ配布には至らなかった。

④メディカルサポートセンターのホームページに学生にも簡単に作れるように V.O.S.メニューレシピ公開した。また、農学部の富田圭子先生から、自炊に慣れていない学生向けに米の炊き方、卵焼きの焼き方などの入門編の動画を作成いただき、動画も配信することができた。

3. 本研究と関連した今後の研究、開発・改良、提案計画

今後、当大学学生への感染対策配信の強化、地域との感染対策などの情報共有、感染に抵抗できる基礎体力や食事摂取の健康教育を行っていきたいと考えている。

また、可能であれば、学生・教職員へのワクチン接種の推進にまで進んでいければ、さらに地域社会との共生、地域への貢献につながるのではないかと考える。

4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)
全国大学保健管理研究集会	口頭	2021年または2022年
日本病態栄養学会	口頭	2021年または2022年

5. 開発・改良、提案課題の成果発表等

近畿大学の大学生に対する健康教育、食育についての発表は、上記学会で数年前から発表している。今回の感染症対策に関連し、簡単で栄養バランスのとれた自炊メニューの作成など、“オール近大”プロジェクトの紹介も兼ねて、発表したいと考えている。